

石川県地震被害想定調査結果について

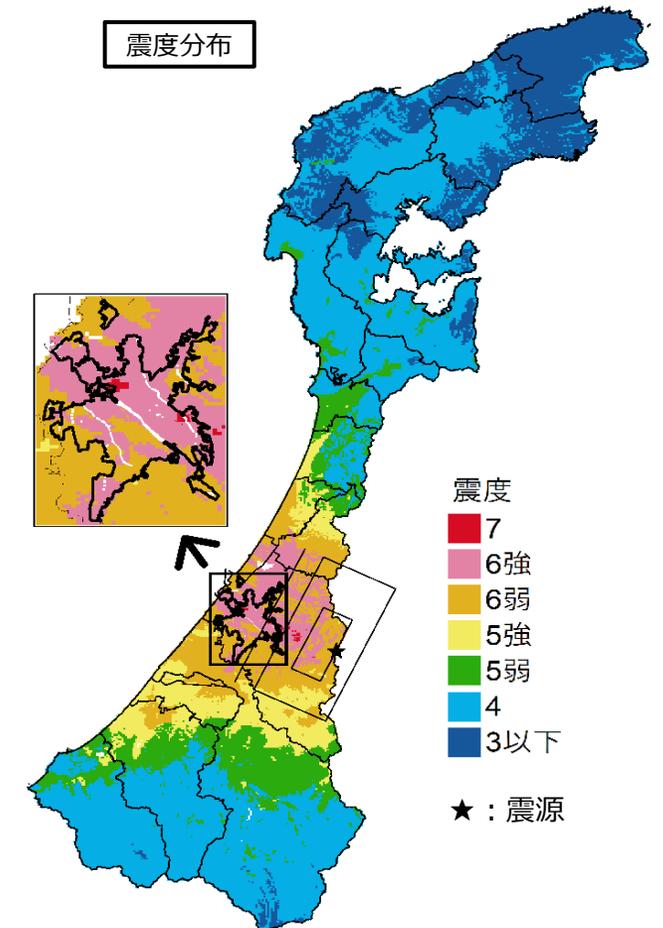


建物被害・人的被害が最大となる**森本・富樫断層帯**では、**建物全壊 約4万7千棟、死者 約2千2百人、避難者 約19万2千人**の被害を想定

<主な被害想定結果>

※想定被害が大きいシーンを組み合わせた結果を記載（建物被害・避難者は冬・18時、人的被害は冬・5時）

項目	被害想定 地震規模(M)7.2	基礎データ
建物被害 (住家+非住家)	全壊 46,947棟 半壊 55,359棟 計102,306棟	県内の建物棟数 617,944棟 出典：R5固定資産台帳等
人的被害	死者 2,212人 負傷者 9,344人 計11,556人	冬・5時の県内の人口 1,217,398人 出典：携帯電話の人流ビッグデータ
避難者 (発災1週間後)	191,898人	冬・18時の県内の人口 1,205,430人 出典：携帯電話の人流ビッグデータ

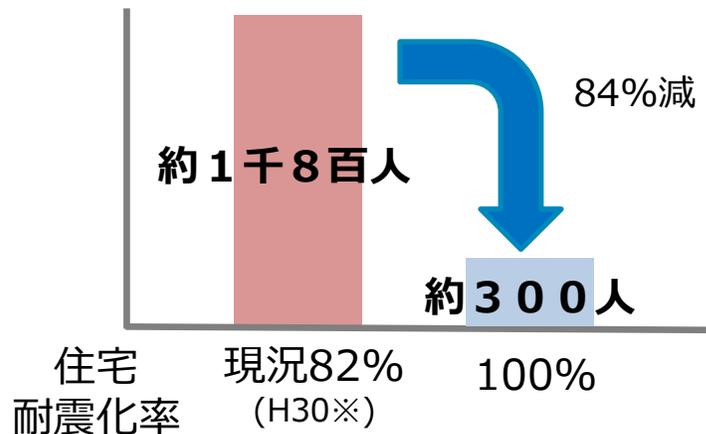


建物耐震化率の向上

〔効果〕

死者数 約 8 割低減

揺れによる死者数



※住宅・土地統計調査(H30)

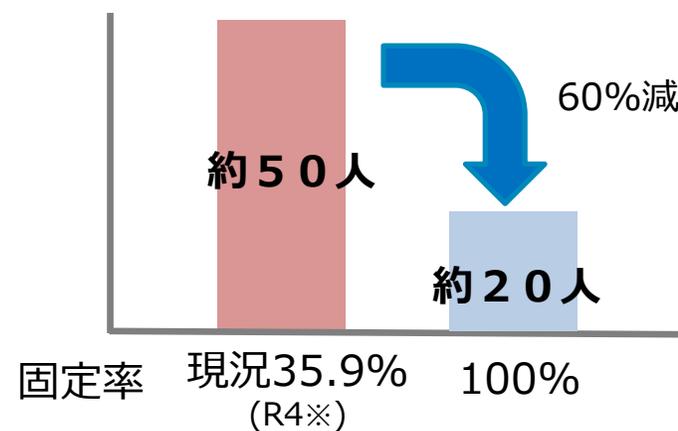
※全壊棟数も約 8 割低減

家具固定率の向上

〔効果〕

死者数 約 6 割低減

家具転倒等による死者数



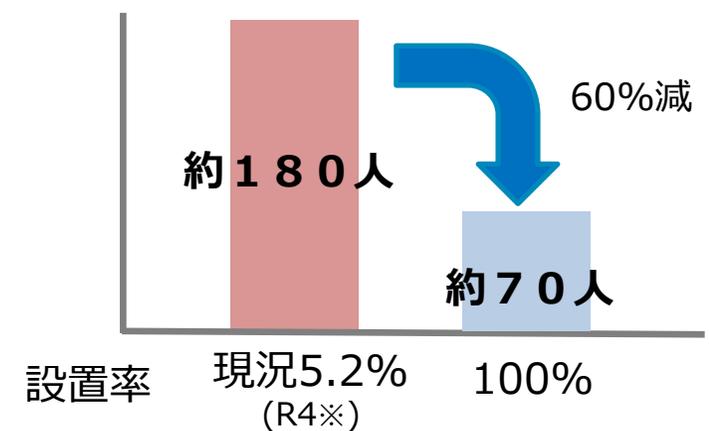
※「防災に関する世論調査」(内閣府)

感震ブレーカー設置率の向上

〔効果〕

死者数 約 6 割低減

火災による死者数



※「防災に関する世論調査」(内閣府)

※全焼棟数も約 6 割低減

家庭内備蓄の促進

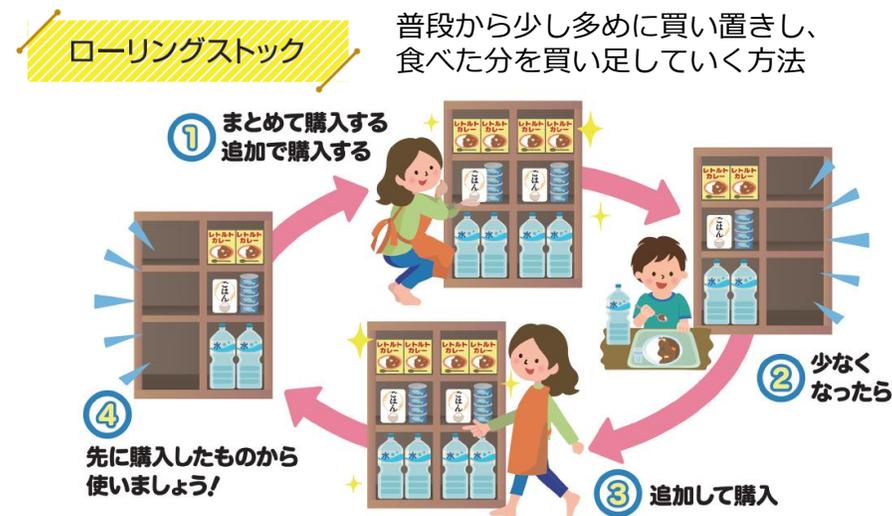
地震に備え、最低でも「3日分」、できれば「1週間分」の食品や簡易トイレを各家庭で備蓄することが重要

備蓄の目安（1週間分/大人2人の場合）

- 必需品
 - ・水 2L×6本×4箱（1人1日3L程度）
 - ・カセットコンロ、カセットボンベ×12本
- 主食（炭水化物）
 - ・米 2kg×2袋
 - ・カップ麺類×6個
 - ・パックごはん×6個
 - ・乾麺 そうめん300g×2袋
パスタ600g×2袋
- 主菜（たんぱく質）
 - ・肉・野菜・豆などの缶詰×18缶
 - ・牛丼の素やカレーなどのレトルト食品×18個
 - ・パスタソースなどのレトルト食品×6個

出典：政府広報オンライン

- トイレ
 - ・簡易トイレ 10回×7日（成人の平均排泄回数5回）
- このほかアレルギーや持病の対応食、乳幼児用ミルクなどのそれぞれの人にあった備蓄が必要



今後、リーフレットやホームページなどで県民に呼びかけ、自助の取り組みを促進

能登官民連携復興センター 「休眠預金事業」の伴走支援



- (一社)RCFは、**休眠預金**を活用し、復興まちづくりや生業再建への支援に取り組む **地域団体などの活動費を助成** (各団体1,500万円程度)

→ 一般社団法人RCF (代表理事：藤沢烈)：休眠預金の資金分配団体
 → 休眠預金：国内の10年以上取引の無い預金。各金融機関から預金保険機構に移管された後、日本民間公益活動連携機構(JANPIA)^{ジャンピア}を通じて各資金分配団体に交付

- センターは、RCFと連携し、地域団体などの掘り起こしや、採択団体を伴走支援

(公募期間 令和6年12月末～) **30件の申請があり、11件を採択**

テーマ	団体名	主な事業の概要	活動地域
復興まちづくり 【5件】	和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会	和倉温泉の復興の中心となるまちづくり会社の設立や、域外企業・団体との連携促進	七尾市
	一般社団法人サポートスズ	アーティストと協力したワークショップなどを開催し、地域住民による復興プロジェクトを創出	珠洲市
	町野復興プロジェクト実行委員会	町野地区の復興まちづくり計画の策定や、住民の新しい挑戦をサポートする交流拠点の運営	輪島市
	輪島支援協働センター	民間ボランティアセンターの設置や防災マニュアルの作成など、地域の防災力を高め、災害に強いまちづくりを推進	輪島市
	輪島市本町商店街振興組合	輪島朝市エリアの復興に向けた整備計画の検討や、プロモーションイベントを実施	輪島市

能登官民連携復興センター 「休眠預金事業」の伴走支援



テーマ	団体名	主な事業の概要	活動地域
生業再建 【6件】	輪島塗復興協議会	輪島塗関係者が一体となった連携体制を構築し、復興計画の策定や展示会を開催	輪島市
	しんきん能登復興コンソーシアム	地元金融機関が連携し、復興商談会の開催や、新商品開発を支援	輪島市、珠洲市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町
	株式会社 ^{そら} 宙と土	珠洲焼の復活に向け、珠洲焼作家同士が共に助け合う、共同 ^{しょうせい} 焼成などの新たな仕組みづくりを構築	珠洲市
	ヴァルト VALT JAPAN株式会社	能登でのデジタル人材の育成を通して、能登にリモートワークといった柔軟な働き方を創出	珠洲市、能登町等
	能登森林組合・公益社団法人 石川県木材産業振興協会	異業種とも連携し、アテ林業の持続化・能登ヒバの高付加価値化の取り組みを創出	輪島市、珠洲市、能登町、穴水町、七尾市 等
	能登島地域づくり協議会	地域資源を活かした特産品の開発など、地場産業の活性化に取り組む地域商社の機能強化	七尾市



<採択団体の取り組み例>

和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会

- 和倉温泉の復興の中心となるまちづくり会社の設立や、域外企業・団体との連携を促進
- 住民同士が復興に向けた思いを語り合う「和倉トーク」を開催し、地域のコミュニティづくりを推進



(写真 和倉温泉創造的復興まちづくり協議会HP)

一般社団法人サポートスズ

- 珠洲の暮らしや生業の写真を集めて展示する「スズレコードセンター」を運営し、住民が地域の文化や魅力を生かした今後のまちづくりについて語り合う交流会を開催
- 珠洲ゆかりのアーティストと協力したワークショップを開催し、住民による復興プロジェクトを創出



輪島塗復興協議会

- 輪島塗関係者が一体となった連携体制を構築し、業界の課題や輪島塗の今後のあり方について議論し、復興計画をとりまとめる
- 対外的な発信として、展示会の開催や、SNS等で職人に関するPRにも取り組む



しんきん能登復興コンソーシアム

- 地元金融機関である「興能信用金庫」と「のと共栄信用金庫」が連携
- 能登6市町全域の事業者を対象に、復興商談会の開催や、新商品開発を支援



今後、**センターは、採択団体に伴走**し、進捗の確認や事業改善のアドバイスなど、**活動をサポート**していく



知事が直接講義を行うことで、若い世代に、県政への関心を高めてもらい、創造的復興などの**取り組みに積極的に参加していくきっかけとする**

テーマ

- ・能登半島地震・奥能登豪雨への対応
- ・石川県成長戦略の実現 など

内容

- ・知事の講義 約30分
- ・質疑・意見交換 約60分

実施予定

5月14日（水） 金沢星稜大学・
金沢星稜大学女子短期大学部

6月23日（月） 北陸大学

※県内に所在する高等教育機関で順次実施



令和6年11月14日 日本大学における知事講演

GW期間中の観光入り込み状況



GWの日並びなどにより、5温泉地の前半の入り込みは前年を下回ったが、後半は前年を上回った

○主要5温泉地のGW利用状況 (4/26(土)~5/6(火)) (文化観光スポーツ部調べ)

	宿泊者数	1日あたり	前年比
GW前半(4/26~29) ※飛び石連休	13,261人泊	3,315人泊	68%
GW後半(5/3~6)	22,255人泊	5,564人泊	104%

(主要5温泉地：山中、山代、片山津、粟津、湯涌)

○列車のGW利用状況 (4/25(金)~5/6(火)) (西日本旅客鉄道株式会社 5月7日発表)

	利用者数	前年比
北陸新幹線(かがやき・はくたか)	390千人	103%
サンダーバード号	227千人	107%
しらさぎ号	47千人	102%

○兼六園等の入園者数 (4/26(土)~5/6(火)) (金沢城・兼六園管理事務所調べ)

	入園者数	1日あたり	前年比
兼六園	114,584人	10,417人	105%
(うち外国人)	27,716人	2,520人	114%
金沢城公園	123,000人	11,182人	95%

インバウンド
需要の
増加

○航空便のGW利用状況 (4/26(土)~5/6(火)) (日本航空北陸支店、全日本空輸金沢支店 5月7日発表)

	利用者数	前年比
小松-羽田便	28,301人	97%
(日本航空)	16,563人	101%
(全日本空輸)	11,738人	93%
能登-羽田便	4,102人	178%

往復1便/日(昨年)
→往復2便/日(現在)

ガルガンチュア音楽祭 2025 の開催結果



○今年のガルガンチュア音楽祭には **123, 215 人が来場**

テーマ **「世界をつなぐハーモニー」**

昨年に引き続き、**能登の復興支援の取り組みも実施**

○来年のテーマは**「あなたが選ぶ10大作曲家」**を予定、今月末まで投票を受け付け

・ガルガンチュア音楽祭 2025 開催結果概要

来場者数 123, 215 人（過去最高だった昨年に次いで過去2番目）

公演数 195 公演（昨年比 + 10 公演）

・能登復興支援の取り組み

もてなしドームを「NOTOパビリオン」とし、能登出身者による公演、
能登産品販売ブースの設置、出張輪島朝市といった取り組みを集中して実施

・来年のテーマ

県独自の音楽祭となって10回目となることから「あなたが選ぶ10大作曲家」
音楽祭ホームページであなたの選ぶ作曲家の投票を受付中
(今月末まで)



▲回答フォーム



▲オープニングコンサートの様子



▲音楽堂前広場でのコンサートの様子

オーケストラ・アンサンブル金沢の能登復興支援の取り組み



- 全国での復興応援コンサートや避難所などの慰問公演など、**これまでに約100公演を実施**
復興応援コンサートなどでの**募金は700万円を超えており、能登の12市町に寄附**
- 楽団員有志により、**被災地での演奏を動画配信中**

OEKの取り組み

(R7.5.6現在)

①コンサート等の開催

- ・全国各地での復興応援コンサート
- ・避難所、被災地での慰問公演

	開催回数	来場者数
	32回	15,285人
	64回	7,514人
計	96回	22,799人

②募金活動

- ・復興応援コンサート等でいただいた募金 **総額 7,050,338円**

※内灘町以北の能登12市町に寄附



▲楽団員有志による能登での演奏活動

楽団員有志の取り組み

(R7.5.6現在)

- ・風化防止のため被災地での演奏の様子をYoutubeで公開
配信動画：25本 参加楽団員：4人



文化振興課 076(225)1370

「いしかわトキの日」放鳥決定記念イベントの開催

令和8年度上半期の**能登地域でのトキ放鳥決定**を記念し、
5月24日（土）に、**親子でトキを楽しく学べるイベント**を**県内各地**で開催

※トキの学名である「ニッポニア・ニッポン」にちなみ、国際生物多様性の日である5月22日は「いしかわトキの日」

メイン会場

のと里山空港仮設飲食店街「**NOTOMORI**」

トキ共生推進室 076(225)1508

- ・**トキを学べるトークセッション** (13:35～14:20)
芸能界屈指の動物好きで知られるココリコ田中直樹氏と
上野動物園元園長でトキの専門家小宮輝之氏がトキの魅力を伝える
- ・**ほくりくアイドル部**による**トキ絵本おはなし会** (14:30～15:00)
絵本「トキってなあに？ アイとシュロロのトキめきたび」を読み聞かせ



田中直樹氏

小宮輝之氏

サブ会場

県内4カ所でワークショップを開催

- ・ラポルトすず
- ・宝達志水町民センター アステラス
- ・県立図書館
- ・いしかわ動物園
- …トキ缶バッジ作り
- …トキクッキー作り
- …能登産のお米で**ポン菓子**実演
- …**トキの絵作画**体験

※それぞれの会場で絵本おはなし会を実施



ほくりくアイドル部



▲申し込みはこちら

⇒ **今年7月に能登地域での放鳥場所が決定**することを踏まえ、**県民の気運をさらに醸成**

県が(株)Gakkenと連携して、被災地など県内の子どもたちを対象に
のと里山空港から行く「学びと探求の旅」を企画・実施

のと里山空港から行く「学びと探求の旅」

5月12日（月）
から募集開始

- 参加イベント：自由研究EXPO 2025 in東京（7/5.6、(株)Gakken主催）
- 期 間：7月5日（土）～6日（日）※1泊2日
- 対 象：県内の小中学生と保護者 先着20組40人（親子2人1組）
- 旅行代金：49,900円（1人分）



<ツアーの特徴>

- ・夏休みの自由研究をテーマとした親子で楽しめる体験型イベントに2日間参加！
- ・人気イベントのチケットを一般募集に先駆け確保！
- ・イベント会場へは羽田空港から県が手配する貸切バスでご案内

▼詳しくはこちら



⇒ 県内の子どもたちに**マイ空港の意識を高めてもらい、**
のと里山空港の利用促進を図る